



春の光と彩りをお届け

大江営農生活センター横のビニールハウスでは、2月下旬に啓翁桜の出荷の最盛期を迎えました。啓翁桜の栽培は温度管理が非常に難しく、花がまんべんなく付いた枝を選定するのも手間がかかる作業です。淡く可憐に色づいた花が、一足早く春の気分をお届けしてくれます。

特集 町長とわいわい
クロスト↔ク (後編)

平成31年

3

No.697

山崎区

◎地区内の危険な道路側溝への対策

現在、地区内では高齢の方が多くなってきたり、その方たちが道路脇の用水路に落ちてしまうと危険なので、集会所から旧大江中学校寄宿舎（新規就農者研修施設）前までの側溝のふたがない部分にグレーチング（金属製のふた）を設置していただきたいと思います。

〈町からの回答〉

ご指摘のあった側溝は町が設置したのですが、管理については町土地改良区がおこなっています。そうした経緯がありますので、土地改良区とも相談をしながら、今後側溝にふたをするという方向で進めていきます。

◎町の医療問題について

町内には現在内科の病院が1つしかないうえ、待ち時間も長くなっているという状況です。今後の医療対策について、町の考えを聞かせてください。

〈町からの回答〉

町では今年度より、町外の医療機関へ通院している高齢者に対し、通院費用の助成としてバス運賃の一部

を支給しています。医療確保対策としては、町民の代表者などからなる医療確保対策委員会を立ち上げ、今後の医師確保や通院支援の話し合いも進めています。自治体によって医療形態も違っているのですが、町民の皆さんの意向をうかがいながら、医療確保の方法について探っている状況です。今後、委員会の検討結果を受けて、町としての医療対策の方向性を何らかの形で示したいと考えています。

また、町の健診の受診率はまだまだ低い数値ですが、山形県成人病検査センターが今年度新しくなり、これまでより早く検査が終わるようになりました。ぜひ皆さんに健診を受診していただきたいと思います。

◎これからの町の観光対策について

神通峡で土砂災害が発生し、しばらくは神通峡への観光客も見込めない状況だと思います。町の表玄関である駅前開発を今後どう進めていくのかなど、これからの町の観光について展望を伺いたいです。

〈町からの回答〉

神通峡については、昨年5年ぶりに遊歩道が復活しましたが、春先にまた大規模な土砂崩れが確認され、国



町内各地区や各種団体の皆さんと、町長が直接話し合う「町長とわいわいクロストーク」。昨年度に引き続き、今年度もご希望のあった地区や団体の会合に町長と担当課長が訪問して、座談会形式の意見交換会を開催しています。

10月号でお伝えした6つの地区での意見交換の後も、昨年10月に3つの地区、そして今年に入って2つの団体の皆さんとのクロストークがおこなわれました。地域内での課題や町への要望、日々活動に携わっている中で湧いた疑問点や新たなアイデアなど、活発に発言が飛び交う充実した意見交換となりました。その内容を要約してお伝えします。



10月1日(月) 山崎区
山崎集会所



▲オープンに向けて工事が進むドラッグヤマザワ
左沢店

による災害復旧工事を現在おこなっています。神通峡の観光の再開は、その工事が完了してからということになります。

国選定の重要な文化的景観のまちとして、各種整備に取り組んでいます。が、それらの景観を見てまわる「まち歩き観光」の仕組みづくりが今後必要になってきます。数ある観光地の中から、どうすれば本町を選んでもらえるか、という視点も重要だと考えます。

駅前公有地については、町民の皆さんの要望に応えるべく、これまで商業施設の誘致に取り組んできましたが、食料品も数多く扱うドラッグヤマザワの店舗がこの春オープンする予定です。

また、朝日連峰の新しい観光拠点として、古寺案内センターの整備を進めているところです。シーズンになると、登山口や古寺鉢泉「朝陽館」周辺は休日を中心に町外からも多くの登山客が集まり、路上駐車車の車があふれるほどになります。この状況を解決するため、大きな駐車場を作ることになっています。平成32年のオープンを目指しており、町の新たな観光地として定着することが期待されます。



町長とわいわい クロストーク（後編）

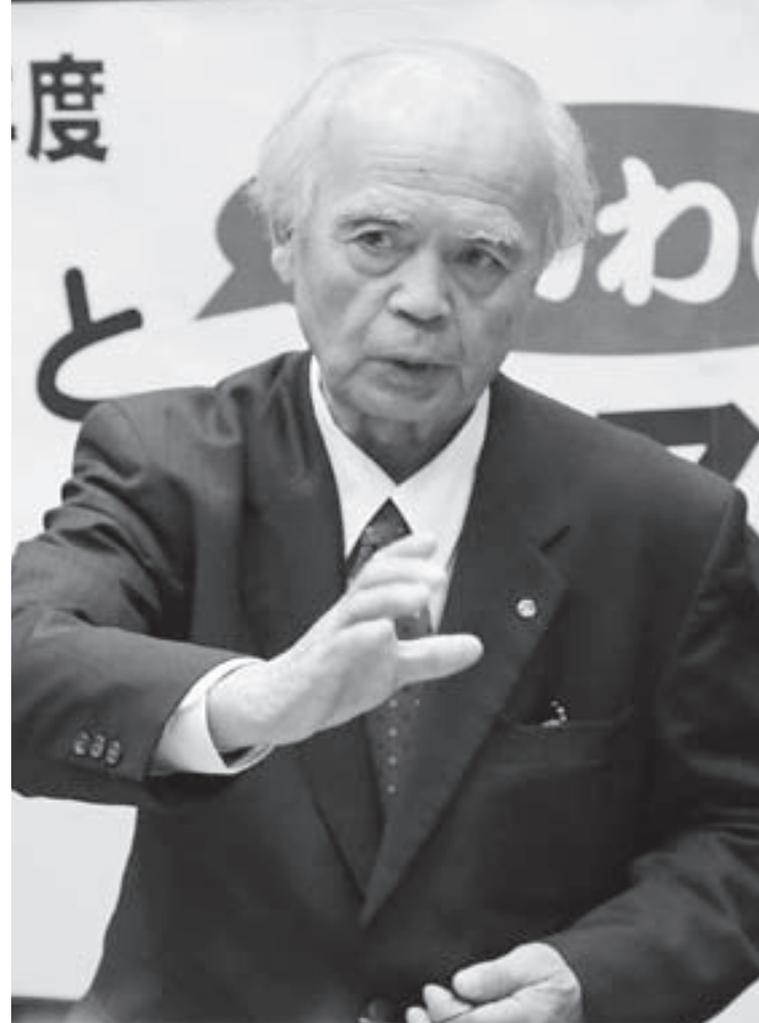
町長あいさつ・町政報告

◆町長あいさつ

国や県の職員と比べ、町の職員の場合には町民一人ひとりと話をし、皆さんが抱える問題や行政への意見などをお聞きできますので、常に親しく接しながらご指導いただきたいと思っています。町政について、ぜひ正直な意見を持ち寄っていただきたいです。

◆町政報告

- ◎全国文化的景観地区連絡協議会の総会および全国大会が、昨年長崎県平戸市で開催されました。今年は本町で10月に開催されます。ぜひご参加ください。
- ◎朝日連峰のPRを推し進めるため、本町と朝日町・西川町による朝日連峰振興連絡会が発会しました。古寺鉱泉手前の駐車場のスペースは30~40台程度でしたが、シーズンになると全国から登山客が訪れ、周辺の町道沿いに数kmにわたって車が連なる状態になります。町では今、登山者向けの観光施設として朝日連峰古寺案内センターを整備しており、約200台の車を止められる駐車場を作っています。
- ◎宅地造成、道路、用水路、堤の問題など、時間の経過によりさまざまな面で課題が生じてきています。優先順位を見極め、順次対処していくことにしています。



蛭水区

◎土砂崩れ・水害への対策について
平成25年7月18日の豪雨で、地区内の住宅地に土砂が流入し、その際役場に地区内の災害対策についてお願いをしました。

また、近年大雨によって各地に大きな被害がもたらされていることもあり、地区の裏手にある庚申堤が決壊する危険性はないのかという心配もあります。堤周辺はちょっとした雨でも側溝から水があふれ、道路が川のように水びたしになってしまう状態です。

住民の方は、蛭水団地が安心・安全な土地だと思って宅地を購入したのだと思います。宅地を造成した町にも責任があると思うので、町として根本的な災害対策をしていただきたいです。

〈町からの回答〉

平成25年の豪雨の際には、土砂流入の状況を確認し、土のうで臨時の側溝を作って対処しています。また、崩れてきた裏山の農地の斜面をフトンカゴで補強する所有者による復旧工事に対して、町で補助をおこないました。

私有地や農業用施設については、

所有者・受益者が管理するのが基本となりますので、皆さんで協力して管理をお願いします。農地・農道への災害復旧には町の補助事業がありますので、そうした場合は所有者と話をしながら復旧に努めていきたいと思っています。

庚申堤については、一昨年に耐震診断を実施した結果、問題ないということでしたが、大雨に備えて現在は水位を半分くらいにしており、町でも監視・点検などを常時おこなっています。

住宅団地付近は、自然災害に備えて何らかの手立てが必要だという認識を町でも持っています。側溝の構造改良を含めて、住民の安全を確保することを第一に考えて今後対応を検討していきます。

◎側溝の臭い対策を

地区内の道路側溝には日常的に水が流れておらず、浄化槽の処理水しか流れないので臭いが出てきません。7、8年前に側溝の水の流れを変え、7、8年前に側溝の工事をしても良かったのですが、地区内は傾斜がないのでどうしても側溝には水が流れません。何か対策をとれないでしょうか。



10月11日(木) 蛍水区
蛍水区公民館

地域住民の声を 町全体に生かす

〈町からの回答〉

町では、側溝からの臭いを改善するため、区内の道路側溝の一部について庚申堤からの水の流れを変え、工事をおこないましたが、区内全てに実施するのは困難です。また、今年の夏は渇水もあったため、水が流れない状況が続いたのではないかと思います。このようなことから、これ以上道路側溝に常時水を流すことは難しい状況にあります。まずに設置している仕切りなどについては、維持管理しやすいように交換していきます。ため池の水をできるだけ流せるような方法も検討していきたいと思えます。

また、臭い対策としては、合併処理浄化槽の適正な使用と維持管理も

大切ですので、浄化槽法に基づく毎年1回の水質検査を実施していただきたいと思えます。

◎一人暮らし高齢者の見守りについて

一人暮らしの高齢者が倒れたりしたときのために、何か対策が必要だと思えます。そういった世帯と役場とがつながる介護用カメラがあると聞きましたが、町ではそういった見守りなどの対策をとっているのでしょうか。

〈町からの回答〉

町では、平成26年度より「緊急通報体制整備事業」を実施しています。これは、高齢者宅に緊急時の通報装置を無償で貸与し、通報を受けた場合、委託警備会社が電話による安否確認をおこない、異常を確認した場合、合は自宅にガードマンが駆けつけ、救急車の要請など必要な措置を取るといったものです。また、高齢者宅の冷蔵庫やトイレに機器を設置し、一定時間ドアの開閉が無かった場合、自動的に通報されて安否確認がおこなわれるというもの(ライフリズム)もあります。利用者の費用負担は、機器使用に伴う電話料と電気料のみです。平成29年度は41人に利用していただいております。緊急通報が7件、

ライフリズムによる通報が49件ありました。

また、社会福祉協議会に委託する形で「配食サービス事業」も実施しており、栄養改善と併せた高齢者の見守りもおこなっています。加えて、郵便局や山形新聞左沢専売所との連携による見守り体制も取っています。地区の方々からも、日頃から高齢者への見守りや声がけなどのご協力をお願いいたします。

上北山区

◎早朝の除雪の時間帯について

冬期間の地区内の除雪についてですが、業者によって除雪に来る時間が遅いことがあります。もっと早く除雪してもらえないようにできないでしょうか。

〈町からの回答〉

早朝除雪については、柳川・十八才・藤田の町内3地区にある観測所の降雪量が、前日の午後5時から当日の午前2時半までの間に概ね10センチメートルに達した場合、各地域ごとにオペレーターにメールで連絡が入り、午前3時に出勤して午前8時を目途に除雪作業を完了することとしています。



10月18日(木) 上北山区
上北山公民館

町内の除雪については、路線ごとに業者を配置しており、委託された路線を時間内に完了できるよう、人員と重機をフル稼働させて効率的に回っていただいています。どうしても除雪する時間帯に差が出てしまいます。一方を早くすれば他方が遅

くなってしまう、効率が悪くなることも考えられますので、ご理解いただきたいと思えます。

◎防災行政無線を聞き取れるように

防災行政無線の音声聞き取りに、上北山公民館周辺はまだ聞き取れるのですが、山側は音が反響して非常に聞きにくいです。

〈町からの回答〉

災害発生時に住民の皆さんが速やかに避難行動を起こすために、災害直後の迅速かつ確実な防災情報などの提供が必要となることから、本町では昨年度より防災行政無線の運用を始めています。各地区の地形などを考慮して、ラップ型スピーカー設備を町内に48カ所設置し、離れた集落については住宅内に戸別受信機を設置することで町内全域をカバーしています。

整備にあたってはテストを繰り返してスピーカーを設置しており、運用開始後もスピーカーの高さや向きなどの微調整をおこなっています。しかし、聞き取る側の状況にも影響されますので、すべての方が確実に聞き取れるようにすることは難しいです。情報は自ら率先して仕入れるという気持ちを持ち、防災意識を高



▲防災行政無線で放送された内容は、電話応答サービス☎(83)8171で確認できます

めていただきたいと思えます。なお、放送が聞こえなかった場合は、電話応答サービスで確認することもできますので、ご利用ください。

災害に伴って町が避難指示などを出した場合は、防災行政無線だけではなく、区長を通しての連絡、消防団員が1軒ずつ直接訪問しての連絡など、住民の皆さんに確実に町からの情報が届くような方法を取ります。

◎デマンドタクシーの対象区域拡大

当地区はデマンドタクシーの対象区域から外れています。高齢者がバスに乗るため、望山のバス停まで30分かけて歩いていっているそうです。そうしたことも考慮していたら、デマンドタクシーのエリアに

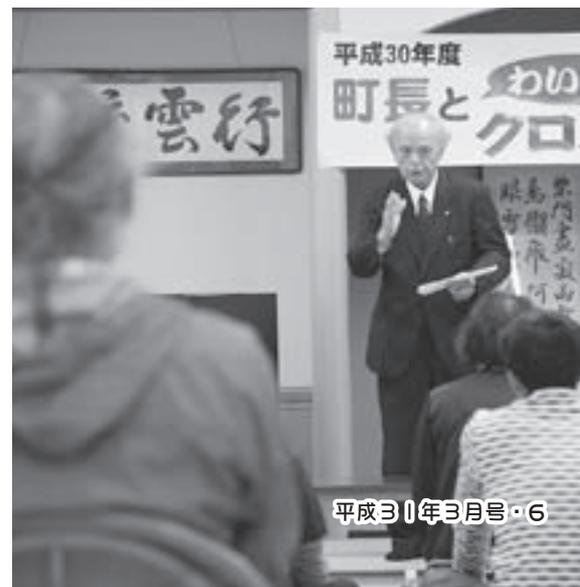
入れてもらえるように考えていただきたいです。

〈町からの回答〉

デマンドタクシーの区域見直しについては、現在検討しているところ。高齢者の足の確保は大切だと考えていますので、もう少し時間をいただきたいです。

現在、デマンドタクシーの登録者数は約200人で、多くの方に普段の足としてご利用いただいています。ワゴン車タイプと乗用車タイプの2台で運行しています。

デマンドタクシーの運行範囲は、町内限定となります。高齢者が町外の医療機関へ通院する際の山交バス利用にかかる助成は、健康福祉課の事業として実施しています。





1月29日(火) 大江町民生児童委員協議会 中央公民館

民生委員は、厚生労働大臣からの委嘱を受けて地域住民の相談に応じ、必要な援助をおこなうボランティアです。すべての民生委員は児童委員を兼ね、子どもに関する支援活動もおこないます。

1月29日、31人の委員が出席した民生児童委員協議会定例会の中で「町長とわいわいクロストーク」をおこないました。



大江町民生児童
委員協議会
会長

工藤利昭さん
(月が丘)

民生児童委員協議会

◎集落運営の維持について

多くの集落で後継ぎ世代が減少し地区役員のなり手不足で事業実施の先導者がいない状況です。今後の集落の運営は、どうしていくべきでしょうか。また、高齢者の割合が高くなっていて、経済的負担となる介護施設に入らないといけないという相談も受けます。

〈町からの回答〉

地域の担い手がいなくなってきたという問題の根本には、地域のために何かやりたくても、今の若い方の置かれた条件が厳しいという時代背景もあるのではないかと思えます。集落運営については、できる方



ができる範囲内でやっていたくことが重要ですので、地域の皆さんのためにぜひ力を貸していただきたいです。

高齢化により地域の関係性が薄れている中、町社会福祉協議会では新事業として地区の公民館などを利用した「みんなの茶の間事業」を実施しています。社会福祉協議会だけでなく町の地域包括支援センターにもさまざまなノウハウを持った職員がいますので、そうした職員も地域に入り、事業が軌道に乗るまでは進め方などをアドバイスしていきます。ぜひご相談ください。

また、高齢になり要介護度が高くなると、介護サービスを利用する必要も出てきます。今の制度では、要介護度によって利用料金が変わるので、年金だけでは大変だという相談もあるということです。そうした方でも利用可能なサービスができたかを地域ケア会議などを開いて考えています。

皆さんからも情報を集めていただき、その点についてもご相談いただければと思います。

◎空き家対策について

空き家は、不審火による火災、老

朽化による倒壊の恐れがあるばかりでなく、犯罪の温床にもなりかねないなど、自己責任だけでは解決できない問題となっています。空き家の実態調査結果について、そして空き家に対する今後の町の対策を教えてください。また、定期的なパトロールなどの対応をしていただきたいです。

〈町からの回答〉

昨年度おこなった空き家実態調査の結果、町内の空き家は約170軒でした。空き家に関する来年度の取り組みとして、いわゆる「危険空き家」になる前に対策を練ろうということから、空き家になり債権者がいて手が出せないという状況になってしまいう前に、所有者が解体したり活用したりできるようにする補助制度を考えています。活用という部分では、町の空き家・空き地情報提供制度(空き家バンク)として、個人による物件売買・賃借の間に町が入り、マッチングするお手伝いをしていきます。この仲介業務について、プロの不動産業の方から協力していただけるような仕組みづくりを検討しているところです。

また、パトロールについては、現在総務課危機管理係で定期的に実施しています。

認定農業者とは、農業経営基盤強化促進法に基づく町の基本構想に向けて農業経営改善計画を作成し、その計画を市町村から認定された農業者です。

町の認定農業者の会の総会が2月12日に開かれ、新規就農者と農業研修生も含め22人の方が出席する中で「町長とわいわいクロストーク」を実施しました。

大江町認定農業者の会 前会長

林 昇司さん
(上北山)



2月12日(火) 大江町認定農業者の会 テルメ柏陵健康温泉館

◎委員のなり手確保について

現在の民生児童委員の任期が平成31年11月30日までとなっており、平成31年度に改選がおこなわれます。今後のスケジュールと、委員のなり手の確保に向けた対応や考え方を教えてください。

〈町からの回答〉

現在の民生児童委員の皆さんは、60歳を超えられた方が多く、国で検討している65歳までの定年延長が実施されれば、ますます担い手がいなくなってしまうのではないかと懸念があります。

そうした中、委員確保に向けた取り組みとして考えられるのは、区長と同じように民生児童委員も地区にとつて欠かせない存在・役職であるということ、行政がもっとPRしていくということ、特に、これからの町を背負っていく若い方々に、民生児童委員の仕事を理解していただきたいです。

委員のなり手確保が難しくなっているもう一つの要因としては、委員の改選時期である12月にはすでに地区の役員などになっている方が多く、12月に次の方を探すのが難しいということがあります。このため、一斉改選時期を地区と合わせて3

活動を通じた 独自の視点で

月・4月にずらせないかということ、国に対して要望していこうと考えています。地区で解決できない場合は、町で地区に入って一緒に後任者を考えていきますので、よろしくお願ひします。

認定農業者の会

◎やる気・元気のある人に応援を

6次産業化を考えている、農家民宿を始めたいなど、やりたいことがあってもどこに相談したらいいかわからないという声があります。関係法令や各種手続き、施設整備や資金のことなどについて、気軽に相談でき、アドバイスしてもらええる支援相談室のようなものを設け、新規就農者を中心にやる気・元気のある農家を後押ししてくれる体制があつてほ

しいです。

〈町からの回答〉

農作物を栽培し・加工し・販売する6次産業化については、まずは農林課で相談をお受けします。さらに6次産業化から新たな業を興す起業ということであれば、政策推進課の支援事業もあります。例えば、農家民宿などはその支援の要件に当てはまりますので、関係する部署が一緒にお話を聞くという体制を整えたいと思います。併せて、県などへも問い合わせ、一緒に対応するように心掛けていきます。

◎小型水力発電の導入について

川や用水路などの水流を利用して、本町でも小型水力発電の計画を進めてはどうでしょうか。最近ではさまざまなタイプの小型水力発電が



あり、あまりお金もかけず、施設も大きくせずにできるものもあるようです。農業用水路も活用できますし、再生可能エネルギーとしてメリットもあると思います。

〈町からの回答〉

再生可能エネルギーという面では、水力も大きな魅力のあるエネルギーです。施設を整備するにはある程度の水量があることが必要で、土地改良区管理の幹線水路になると考えられます。数年前、県と土地改良区で現場の調査をした結果、水量あるいは落差に課題があつて、すぐにはできないとの結論になつたそうです。

近隣の市町で整備したところもありますが、故障が多くすぐ止まるなどの課題もあるようです。今すぐにとするのは難しいですが、そうした点も参考にしながら、水路の大きな活用方法の一つとして今後検討していきます。

◎農機具購入への助成制度拡充を

農機具購入に対する町の補助制度がありますが、対象者や補助金額、農機具の種類などが限定されています。今、農機具そのものが高額になってきていて、個人では買うこともなかなかできません。これを見直して、

意欲のある農家が高額な機械を購入する場合も助成してもらえるようにならないでしょうか。

〈町からの回答〉

町の農機具等整備事業では、主に高齢の方の農作業の省力化を図るため、助成対象の農機具を乗用草刈機や電動剪定ばさみなどに限定しています。コンバインなどの大きな機械となると、今のところ県や国の補助制度を利用していただくことになりませんが、古くなつた機械を買い替えるという場合は難しい状況のようです。

ただ、県や国に対しては補助の枠や条件についても柔軟に対応してほしいと要望し続けています。今後、新たな補助制度が出てきた場合なども、それぞれの状況に合わせて対応していきます。

◎小鳥山スキー場の活性化について

小鳥山スキー場の集客が最近減少し、土日あまり人がいない状態です。近隣のスキー場の場合、土日は子どものリフト券は無料になっています。子どもを連れて行くとなると、やはり無料の方へ行く方が多くなります。子どもの利用料金の無料化を含め、総合的に負担を軽減すれば利

用率が上がるのではないのでしょうか。小鳥山スキー場も、工夫すれば面白いところになると思います。例えば、コブ(モーグル競技)の練習をしたい人もたくさんいるので、コースを広げてコブ斜面にするとか。ナイターでも練習できるとなると、町外からも多くの人が集まるのではないのでしょうか。

〈町からの回答〉

小鳥山スキー場の立地条件や利用者層をみると、ファミリーゲレンデあるいはスクールゲレンデというべきで、子どもの利用なしでは考えられない状況です。町内小学校2校や藤田の丘分校、左沢高校の利用については減免措置により無償または割引料金となっており、その利用が大半を占めていることになりました。

スキー場の運営については、経費のうち約87パーセントを町の予算で賄っているという実情があります。無償化すれば収入減となりますので、今後町民の皆さんの声などもお聞きして検討していきます。2月の小鳥山スキー大会後にはナイターの練習会も終わるので、例年集客がぐっと落ち込みます。大会後の土日や、ナイターなどの無償化なども併せて検討していきたいと思えます。

生活環境・健康について

◎犬のふんについては、飼い主が持ち帰るように促すプレートが設置してありますが、飼い主が放置したふんは誰も掃除してくれません。何とかならないでしょうか。

☞飼育されている動物のふんの処理については、飼い主の責任によっておこなわれるべきものです。町として注意喚起をおこなっていますが、地域内での呼びかけについてもご協力をお願いします。

また、自身で責任を持つことのできない野良猫への餌やりについても、同様の問題が発生します。行政だけの対応は困難なことから、地域全体で解決する機運を高めていけるよう、取り組んでいきます。

◎1日人間ドックの受診が、他の市町村のように半日以内で終わるように工夫してもらいたいです。

☞来年度からの町の健診では、1日人間ドックとミニドックを合わせて実施することになり、健診に要する時間も大幅に短縮されることが見込まれます。時間は検査項目によって異なりますが、受付してから遅くとも約3時間あれば健診が終了するようになる予定です。



▲健診会場の山形県成人病検査センター。4月から「総合健診センター」に名称が変わります

その他町政全般について

◎ふるさと納税の返礼品が、地元の農産物、工芸品などの消費拡大につながるよう、ぜひ取り組んでいただきたいです。

☞本町のふるさとまちづくり寄附の返礼

品は「町の特産品や魅力を伝えられる、またはPRにつながるものであり、かつ町内で栽培、製造、加工、販売、サービスなどがなされていること」を要件としており、桃、りんご、スモモ、米といった農作物やニット製品、桃の實の工芸品の他にも、日本酒やお菓子といった特産品を返礼品としています。

今後も地元の魅力のある特産品を返礼品とし、さらなる消費拡大につながるよう取り組んでいきます。



▲農産物をはじめ、多くの事業者から町の産品を返礼品としてご提供いただいています

◎町のホームページがリニューアルされてしばらくたちますが、町の情報を調べようと検索をかけると「ページが見つかりません」というエラーが表示され、見る事ができないことが多いです。見た目だけでなく、中身も含めた改良をしていただきたいです。

☞本町の公式ホームページは、昨年7月にデザインを一新しました。リニューアルにあたって、これまでのホームページのデータは消去していますが、インターネットの検索サービス側には削除されたページの情報がしばらく残ります。このため、ページ内検索をおこなうと検索結果には古いページが表示されたままになり、クリックするとページが存在しない旨のエラーが表示されてしまいます。

現在、古いページを検索結果から除外する手続きをしていますので、こうした現象が改善されるまでもうしばらくお待ちください。

町ホームページについては、閲覧する方が見たい情報にすぐにたどり着けるよう、どなたでも見やすく分かりやすいウェブサイトを目指して現在も改良を重ねています。今後もぜひ皆様のご意見をお寄せください。

皆さんからの声にお答えします

平成30年度「おおえ広聴ハガキ」

まちづくりに対する町民の皆さんのご意見や疑問、身近な問題などをお聞かせいただく「おおえ広聴ハガキ」。今年度も多くの皆さんから声を寄せていただきました。その一部と、町からの回答をご紹介します。

観光・イベントについて

◎町内では、夏に水郷大江夏まつり花火大会、秋には秋まつりと大きなイベントがあります。春と冬にも何か大きなイベントを計画してはどうでしょうか。

☞町では、交流人口を拡大し地域の活性化に結び付けようと観光に力を入れており、イベントも誘客拡大のための取り組みの一つです。

現在の年間の主なイベントは、1月の歴史民俗資料館の小正月行事、2月の柳川温泉雪まつり、3月下旬のひなまつり、5月から6月にかけての大山自然公園ユリまつり、6月の正調最上川舟唄全国大会、7月のテルメ柏陵紫陽花まつり、8月の水郷大江夏まつり灯ろう流し花火大会、9月の秋まつり、10月のクラシックカーイベント、11月の物産味覚まつりなどです。今後も観光事業の充実を図っていきますので、ご協力をお願いします。



▲大山自然公園に咲き誇るヒメサユリ

◎町の文化祭についてですが、展示の部では作った人の名前が書いていない作品が多くありました。誰が作ったか分からないと、楽しめません。また、ステージの部ではそれぞれの団体が長い時間をかけて発表していますが、いろいろな団体の活動を見たいのもっとコンパクトにやってほしいです。

☞文化祭へのご来場ありがとうございます。また、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

町の文化祭は、皆さんの1年間の活動

を発表する場です。出展者、出場者にとってますます充実した、またご来場いただく方にとってもより良い文化祭となるよう、次回以降の開催に向けて実行委員会などで検討していきます。

交通安全・除雪について

◎町内の横断歩道のペンキがはがれているところが多いです。安全のために、早く塗り直してほしいです。

☞横断歩道や道路標識は、公安委員会によって設置・管理されています。補修の必要がある設備については、毎年警察署を通して要望しているところです。ご指摘の横断歩道についても、早期改善できるように引き続き要望していきます。

◎昨年の冬は自宅の前の除雪の時間が遅く、出勤する時は積もったままで、出勤後に除雪車が家の前に雪を置いていってしまいます。除雪の時間を早めてもらえないでしょうか。

☞早朝除雪については、前日の午後5時から降雪量を測定し概ね10cmに達した場合、出勤することとしています。このことから、10cmに達する時間が遅くなれば出勤時間も遅くなり、大量に降雪があった場合でも通常より時間がかかってしまいます。

町内の除雪につきましては、路線ごとに業者を配置し、限られた人員と重機をフル稼働させて効率的に除雪をおこなっていますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。



▲この冬も各地でおこなわれた除排雪作業

1 ■緊急時の電力供給について県内初の協定締結 ～災害時等における電動車両及び給電装置に関する協力協定～



▲協定書に調印した小野勉代表取締役社長(写真右から3人目)と渡邊町長ほか、町と山形三菱自動車販売(株)の関係者



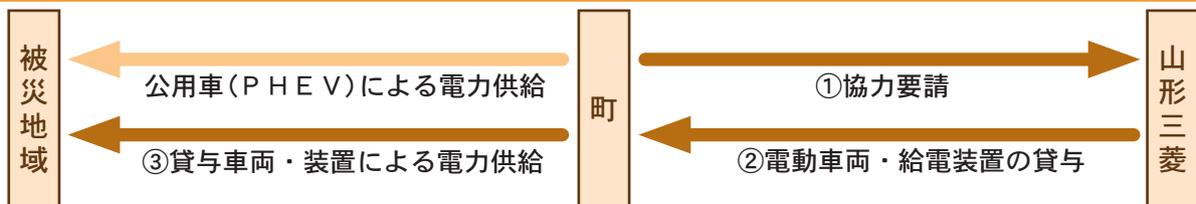
▲2月に導入された公用車、アウトランダーPHEV

本町と山形三菱自動車販売株式会社(山形三菱)との間で「災害時等における電動車両及び給電装置に関する協力協定」が締結され、2月18日に役場大会議室で締結式がおこなわれました。この協定は、自然災害や大規模停電などの緊急事態が発生した場合、本町の要請によって山形三菱から電動車両と給電装置の無償貸与を受けられる仕組みを定めたもので、県内市町村では初めての協定です。

貸与を受ける電動車両は、燃料不足の際の災害対応車両としての活用に加え、家電製品などに電力を供給することもできます。このため、災害による大規模停電が発生しても、テレビで災害情報を入手できるほか、スマートフォンを充電したり、家電を使用して食材の調理や保存をしたりすることができます。

また、町では2月に新たな公用車として、同じく電力供給ができるアウトランダーPHEVを導入しました。この車両の場合、駆動用バッテリーとエンジンによる発電を組み合わせれば、一般家庭の使用電力量の約10日分を供給することが可能です。今回の協定締結とPHEV導入によって、災害時に町民の皆さんの負担や不安が大きく軽減されることが期待されます。

協定に基づく災害発生時の協力体制



町健康福祉課による「健康づくり教室・運動編」が、2月21日に体育センターで開かれました。この教室は、生活習慣病の予防に役立つ知識や運動法などを広く知っていただくため、今年度4回にわたって開催しているものです。

最終回となったこの日は、大江スポーツクラブO-STEPの会員も含め、約40人が参加。山形県健康づくり推進機構の東海林美佐江さんを講師に迎え、冬場の運動不足解消のために室内でできる運動を学びました。「頭も使いながら運動すると、認知症予防に効果的です」との東海林さんのアドバイスを受け、参加者は音楽に合わせて無理なく体を動かす「スロー・エアロビク」などを体験。動きの順番を覚えながら、リズムに乗って全身を動かす運動を楽しんでいました。

2 ■体も頭もエクササイズ! ～健康づくり教室・運動編～



3歳児 Smile Photo



菅野陽葵ちゃん
12区



佐竹奏音くん
美郷



柏倉希旺くん
三合田



成田朱希ちゃん
みなみ



佐藤璃子ちゃん
13区



高橋健吾くん
藤田



阿部 慶くん
美郷



石沢颯磨くん
諏訪原



鹿股れいちゃん
藤田



小林時実ちゃん
木の沢



渡辺 侑くん
富沢



渡辺響斗くん
12区



小川陽菜ちゃん
小漆川



大沼優翔くん
蛭水

2月8日に3歳児健診を受けた元気なちびっ子たちを紹介합니다！（順不同）

健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114

町内の小学生の皆さんから 亘理町の皆さんへの義援金

太平洋沿岸部に甚大な被害をもたらした東日本大震災から、今年で8年。現在も復興活動が続く宮城県亘理町の皆さんを応援するため、町内の小学生が支援活動をおこないました。

左沢小学校5年生からは、米作り体験で収穫した米の売上金と募金合わせて34,667円、本郷東小学校の3年生からは、リンゴ栽培体験で収穫したリンゴの売上金25,000円を寄付していただきました。

寄付していただいたお金は、3月11日におこなわれた亘理町合同慰霊祭で、亘理町の皆さんに届けられました。



▲左沢小学校5年生より



▲本郷東小学校3年生より



2/9・10 身も心も温まる一夜

冬ならではの温泉の魅力を楽しめる「奥おおえ柳川温泉雪まつり」が、2月9日から10日にかけて開かれました。会場の柳川温泉駐車場内には2つの大きなかまくらが作られたほか、やまがた地鶏のから揚げや玉こんにゃく、なめこ汁などが販売され、甘酒も1杯無料で振る舞われました。

9日夜には会場内の雪灯ろうやかまくらに明かりが点され、幻想的な雰囲気の中で夜空に90発の鮮やかな花火が打ち上げられました。訪れた皆さんは温泉と冬の味覚で温まりながら、華やかな雪の祭典を楽しんでいました。



2/10 立ち上る炎をいつまでも

旧暦の正月である2月上旬、町内の多くの地区で伝統行事の「おさいとう」が実施されました。

13区では、地区の役員や壮年会、青年会などの皆さんが中心となって準備し、2月10日におこなわれました。この日の夜、神明神社の御神火から取られた種火を子どもたちがリレーで運び、積まれたわらに点火。火はたちまち盛んに燃え上がり、地区の皆さんが炎を見守りました。13区区長の大谷茂家さんは「今ではわらを作る方も地区内では少なくなりましたが、何とかおさいとうを続けることができます」と話していました。



2/11 スキー日和で最高の滑りを！

スキーの普及促進とレベル向上を図るための「2019小鳥山スキー大会」が、2月11日に小鳥山スキー場で開催されました。今大会には、保育園児から大人まで、男女合わせて33人の選手がエントリー。大回転競技でそれぞれ2回のタイム計測をおこない、合計タイムで順位を競いました。

この日の雪質はやや固めだったものの、空は雲一つない晴天。絶好のスキー日和のもと、選手たちはタイム更新と上位入賞を目指して、風を切るようにゲレンデを滑走していました。



《大会結果》 ※優勝者のみ・敬称略

★小学校2年生以下の部

男子/五十嵐治人(にじいろ保育園) 63秒13
女子/堀 日向(左沢小) 63秒77

★小学校3・4年生の部

男子/堀 晴空(左沢小) 59秒52
女子/佐藤うらら(左沢小) 76秒84

★小学校5・6年生の部

男子/佐藤 天飛(左沢小) 56秒70

★一般の部

男子/堀 裕司 43秒94



2/16 東北6県のCM大賞作品競演!

東日本放送制作のテレビ番組「東北ふるさとCMフェスティバル2019」が、2月16日に東北6県同時ネットで放送されました。この番組は、東北各県の「ふるさとCM大賞」で最高賞を獲得したCM作品が一堂に会するもので、本町の作品「ひだりじゃない」も山形県代表として登場。番組内では各市町村の紹介VTRも放映されました。

司会を務めたのは、タレントの松村邦洋さんと江口ともみさん。他県の出演者は「左沢のことを一度で分かってもらえる良いCMだと思います」と、本町のCMを評していました。



2/17 中国の郷土文化を味わう

おおえ国際交流協会と寒河江西村山日中友好協会の共催による「世界の料理教室・中国編」が、2月17日に中央公民館で開催されました。今回は、中国茶教室などを開いている料理家の森谷恵美子さんを講師に迎え、中国の家庭料理作りを体験し、中国茶の作法や楽しみ方を学びました。

この日は町内外から19人が参加し、中国の正月料理である水餃子をはじめ、中華ちまきや白菜のサラダの調理に挑戦。干しエビやチンゲン菜など中華ならではの具材や調味料を使った素朴な中国家庭料理と、奥深い中国茶に舌鼓を打ちました。



2/16 不思議な種から楽しくものづくり

東北芸術工科大学の学生とともにものづくりを体験する「おおえFamiliwa冬企画」が、2月16日に山里交流館「やまさあーべ」で開催され、町内の小学生12名が参加しました。

この企画は前身の企画も含めると、今回で34回目となります。今回のテーマは「発見こりゃなんだね!？」で、事前に用意された「不思議な種」から想像を膨らませ、作品を作り上げていくというもの。子どもたちは、アルミホイルや緩衝材などを材料に塔や家を作成。身近な素材を駆使し、ユニークな発想で制作を楽しんでいました。



2/24 春を呼ぶマルシェで大盛況

まちなか交流館「ATERA」を会場としたマルシェ「左市」が、2月24日に催されました。今回の出展は、ATERAキッチンなど「食」をテーマにしたものから工芸、古本や謎解きゲームなど、多彩なジャンルにわたりました。

この日訪れた来場者は、およそ600人。会場は終始大勢の人々でにぎわいました。昼は食事の提供ブースが盛況となり、売り切れが続出。午後からもご当地ヒーロー「憑身シェイガー」とふれあう企画などもあって、子どもから大人まで広く楽しめるマルシェとなりました。

2011年3月11日、14時46分18秒・地震名「東北地方太平洋沖地震」・震度7・マグニチュード9・災害名「東日本大震災」、忘れてはいけないあの時——11・2時・4・6——を「いちいちにしろく」と繰り返し読んで記憶した。ただ「あの時のお電話」だけは、貧弱な頭に、記憶に残そうとなんにも仕掛けていないのに、今もこびりついて離れない、何でだろうか。

「あの時」のお電話は、「原子力発電所が爆発して逃げる途中です、なんとかお力を貸していただけませんか」と、放射能汚染で数万人の「全町民避難」指示が出て、いつもは20分で済む車の移動が、数時間も掛かるほどの想像を絶する厳しい避難途中での、陣頭指揮を取っている町長さんからの電話であった。

すぐに返事ができなかった、泊まる場所、食事、布団……朝日少年自然の家・小中学校・公民館・各種宿泊施設……、責任を持って受け入れられる「力」があるだろうか……急いで確認したあと、千人程度ならば、と申し上げたが、程なく福島県内に落ち着くことになりそうだと連絡をいただいた。その後、町外の避難先仮設役場で町長さんとお会いできたのは数カ月後であった。散り散りばらばらになった町民の「今後の生活再建に全身全霊を寄せている気迫」が、目に「光と力」になって表れていた。穏やかな語り口ではあったけれど。

2019年2月7日、休暇を取ってハンドルを握った。行く先は福島県原力発電所隣接の町だ。いわき市、太平洋沿岸の高速道路を北上した。「中間貯蔵輸送車両」・「環境省除去土壌等運搬車」と大きく書かれたダンブカーが何台も走っていて、いわき市からは「放射線の表示サイン」が十数カ所、一番高い線量は2.8と読めた。フーン終わっていないなんちゅうこった、発電所の大きな白い煙突と建屋も見えて、道路脇には黒や緑のシートにくるまれた汚染土と思われる山が結構見える、いつまでなのかな、大丈夫かな、放射能は。頭がなかなかついていかない。見えない毒のため、人間が住めない場所があることを初めてこの目で見た。家もあり学校もあり道路もあるのに、なのに……今も考えはまとまらない。

青い空に、そしてお宅に向かって、「本当にご苦労さま、お疲れ様ありがとうございます、私たちに……力があれば、何とか、何かできたのに……」と、手を合わせた。帰路、車の中で、町長さん、またいつかきくと、こんなふうにと「はるかかなたは、相馬の空かよ、相馬恋しやなつかしや、当座の花なら、なぜこのように、固い私を、迷わせた」と何回も歌った。町長さんお聞きになれたでしょうか。

大江町長 渡邊 兵吾

地域おこし協力隊通信

No.51



この3月31日をもって、地域おこし協力隊を退任することになりました。平成29年10月1日の着任から1年半、最長の任期に対して半分の期間でしたが、たくさんのお会いや学びにあふれる活動でした。ホームページの作成や町内でのイベントの取材を通して、私が育ったこの町がいか

に美しく、そして掛け替えのないものが身に染みしました。この経験を次の仕事に生かし、その力を町の発展に役立てたいと思っています。今後はデザイン、動画、ウェブなどのコンテンツ制作を中心に活動していきたいと思いますので、これらに関して相談事がありましたら、いつでもご連絡ください。

活動を支えていただいた皆さんに、この場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

地域おこし協力隊 坂口祥太



▲左市で謎解きゲームを出展しました

短歌

初雪や畑に残りし大根は平成最後の白衣纏いて

佐竹磨砂湖

三歳の孫は絵本を音読す耳で覚えた「アンパンマン」を

山家 重之

待っていた微かな春に誘われて歩み延ばせば露の薹の類被り

菊地つねよ

小清川雪に埋れて鳥見えズイリの村にも人の気配なく

佐竹 與鼓

われ九十一歳の誕生日孫の手紙にうれしき涙

齋藤 徳治

俳句

凍て空にカモメたわむる百目木の瀬

鴨田富士夫

街なれど国旗は見えず健国日

阿部 一風

啓蟄や孫の来たりて這ひ這ひす

山家 重之

雪解水再復興の左市

熊谷 勉

春暁や朝刊を抜く音軽ろし

舟山 三男

茂吉忌の日に煮凝を食ふ朝餉

伊藤 啓泉

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん

※4月号の吟遊浪漫コーナーはお休みさせていただきます。5月号に掲載ご希望の方は、4月20日(必着まで)役場総務課に作品をお寄せください。



Youthful トーク

東根市内の会社で機械部品の製造に携わって2年目の佐藤さん。業務用の機械には精密な動作が求められるため、部品の品質チェックなども大変厳しく、気の抜けない作業が多いといいます。その一方で、クレーンやフォークリフトの操作といったさまざまな資格を取得できることが、充実感にもつながるようです。

「いろいろなことができるようになるのは、嬉しいですね。仕事を任せてもらえる機会も、少しずつ増えてきました」

佐藤さんは小学生から高校生まで野球を続け、中学生からはキャッチャーを担当していたそうです。

「中学の時、部員の人数の関係でキャッチャーをしなければいけなくなって……配球を考えるのが大変なんです。うまくバッターを打ち取れると『やった!』という気持ちになれるのがいいですね」

佐藤さんが将来目指すのは、「何でも分かる、何でも答えられる」人材。

「トラブルがあっても自分で率先して対処できる、そんな人になりたいですね」

佐藤 哲也さん (20歳・蛍水)

オールマイティな人材を目指して

シリーズ企画

月刊

仲間とエンジョイ!

No.24

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

大江ふれあい剣詩舞会

代表：鈴木勝治さん (13区)

日本の歴史を題材とした曲に合わせ、刀や扇子を振るいながら舞う剣詩舞。大江ふれあい剣詩舞会は、剣聖流の剣詩舞を愛好する皆さんの団体です。平成8年から大沼禮剣氏の指導を受けて活動し、現在は関口秋剣氏より基本の形を学びながら、町の文化祭などに出場して演舞を披露しています。

「健康第一なので、剣詩舞を通じて体力づくり、仲間づくりに、これからも楽しくがんばって生きたいです。若い方にも、ぜひ一緒にやってみてほしいですね」と話す、代表の鈴木勝治さん。現在は、5月に開かれる山形県剣聖流演舞会での発表に向けて練習に励んでいます。



▲大江ふれあい剣詩舞会の皆さん



▲関口秋剣氏の指導のもと楽しく練習しています

お知らせ

Information

児童扶養手当に関するお知らせ

- ◆対象／ひとり親家庭の児童、父母がいない児童、父（または母）に重い障害がある児童を養育する親または親に代わって養育する方
- ◆支給期間／児童が18歳に達する日の年度末まで（障害のある児童の場合合は20歳未満まで）
- ◆支給月額／全部支給の場合42910円、2人目の児童がいる場合は10140円、3人目以降の児童から6080円が加算されます（所得額によっては一部支給となります）
- ◆支給月／4月、8月、11月（奇数月に支給（制度改正があり、平成31年11月以降は奇数月に2カ月分、年6回振込になります））
- ※平成31年4月分からの支給額となります。
- ※所得などその他の要件がありますので、詳しい要件については窓口までお問い合わせください。
- ※認定を受けた場合、申請月の翌月

分からの支給になります。

健康福祉課子育て支援係

☎(62) 2285

障害に関する各種手当のお知らせ

【特別児童扶養手当】

◆対象／障害がある児童を養育している方

◆支給期間／児童が20歳に達するまでの間

◆支給月額／1級障害52200円、2級障害34770円

◆支給月／4月、8月、11月

【特別障害者手当（障害児福祉手当）】

◆対象／重度の障害があり、常時介護を要する在宅で生活をしている方

◆支給月額／障害児福祉手当（20歳未満）14790円、特別障害者手当（20歳以上）27200円

◆支給月／2月、5月、8月、11月

※各手当とも平成31年4月分からの支給額となります。

※いずれの手当も障害の程度・所得制限などの要件があり、申請には医師診断書などの提出が必要です。認定を受けた場合、申請月の翌月分から支給されます。

健康福祉課子育て支援係・福祉係

☎(62) 2285

さくらんぼ ナンバープレート つけられます!

昨年10月から「地方版図柄入りナンバープレート」の交付が始まっています。



地域の魅力的な風景や観光資源を発信していくために作られたもので、山形ナンバーの場合はさくらんぼの図柄があしらわれた「さくらんぼナンバープレート」になります。普通車や軽自動車、また新車や中古車を問わず取り付けることができ、現在乗っている車のプレートの交換も可能です。

真っ赤なさくらんぼのナンバープレートで、県内はもとより全国各地を走って山形県の魅力を発信し、地域振興に貢献してみませんか？

☎(一社)山形県自動車整備振興会

☎023(686)4834

町内温泉施設などの利用料金・入浴利用券助成金額変更のお知らせ

平成31年4月1日より、(株)大江町産業振興公社が運営しているテルメ柏陵健康温泉館、シニアセンター、大山自然公園、柳川温泉の利用料金を改定します。詳しくは各施設にお問い合わせください。

またこれにより、「さわやか健康づくり推進事業」によるテルメ柏陵健康温泉館と柳川温泉の入浴利用券の本人負担額が下記のとおり変更となります。

今後も健康づくりのために多くのご利用をお願いします。

温泉名	入浴利用券区分	旧料金(円)	新料金(円)	本人負担額(円)	
				3月まで	4月から
健康温泉館	回数券(30回)	9,000	10,500	6,000	7,000
	柳川温泉	半年券	30,000	33,000	20,000

※回数券は、1月あたりの購入上限を1冊(30回)とさせていただきます。

※半年券は、更新日が属する月に購入をお願いします。

※柏陵荘の入浴料および「柏陵荘のみ」の入浴利用券の料金の変更はありません。

☎(株)大江町産業振興公社 ☎(85) 1126 (料金について) 税務町民課国保医療係 ☎(62) 2291 (助成について)



▶▶ 町税の納め忘れはありませんか？お早めに納税ください。



大江のひなまつり

- ◆日時／3月29日(金)～3月31日(日)10時～16時
- ◆会場／町内5会場(金子仙之助家、清野太家、岡田文治家、歴史民俗資料館、無料お休み処錦庵)
- ※4会場共通券800円、1会場300円、中学生以下無料
- 問大江のひなまつり実行委員会(政策推進課内)
- ☎(62)2111

左沢ひな市

- ◆日時／3月29日(金)9時～16時半
- ◆会場／左沢中央通り商店街
- ◆内容／植木や花、海産物、軽食などの露店
- 問大江町商工会 ☎(62)4128

お食事提供「花ずし」

- ◆日時／3月30日(土)、3月31日(日)11時～13時
- ◆会場／歴史民俗資料館
- ◆料金／600円(各日限定30食)
- 問教育委員会 ☎(62)3666

音の文化祭「ひなまつりコンサート」

- ◆日時／3月21日(木)13時～
- ◆会場／ふれあい会館
- 問教育文化課社会教育係 ☎(62)3666

映画「はやぶさ」 上映会のご案内



今だからこそ、はやぶさの60億キロ、7年間の旅を追体験してみませんか？

あの瞬間をJAXAでリアルタイムで体験してきた、寺藺淳也先生の完全解説付き特別無料上映会をおこないます。この機会をどうぞお見逃しなくおいでください。

- ◆日時／3月30日(土)13時半～16時半
(開場13時)

※上映前に「はやぶさ」と「はやぶさ2」の解説があります。

- ◆会場／中央公民館2階多目的ルーム
- ◆解説／寺藺淳也氏(会津大学企画運営室兼先端情報科学研究センター准教授)
- ◆参加費／無料(予約不要、全席自由)
- 問教育文化課社会教育係
- ☎(62)3666

◆ 大江町メール配信サービス をご利用ください！ ◆

電子メールで行政情報などを提供するサービスです。無料で登録することができます。

ココから登録！

◆配信内容／

- ①生活情報…町のお知らせ、福祉、子育て、生涯学習など
- ②観光・イベント情報…観光、イベント、スポーツイベントなど
- ③防災情報…防犯、防災など



編集

後記

あなのおそろしや。
性の参加者だけ……
に気がついたのは女
うです。しかも、それ
ら謎の物音がしたそ
えた直後、天井裏か
のろうそくの火が消
ちなみに「百物語」最終日、百本目

(伊藤智治)

今年度も、あっという間に終わりに近くなりました。この1年間をざっと振り返って印象に残っている取材のひとつが、去年7月に開かれた「シェイクラボ 百物語 大江町の怪談・奇談スペシヤル」です。富沢地区の大澤寺を会場に、参加者が怪談・奇談を持ち寄って語り合う、まさに「百物語」の形式でおこなわれたイベント。単に怖い話で楽しむだけではなく、地域に残る特有の文化をみんなで見守り、未来へ残していこうという試みでもありました。幽霊や妖怪という「非科学的」と一蹴してしまおう方も多いですが、例えば文学や絵画、音楽などの芸術作品においては昔から世界中で取り上げられていた題材であり、それらを学術的に研究している方もいます。

心霊写真、都市伝説、未確認生物、宇宙人……かつてテレビを賑わせていたこれらの話題も、今ではすっかり下火になった感があります。でも「百物語」が開かれた夏の日の夕暮れ、お寺の本堂で怖い話に聞き入っていた何人もの子どもたち——怖さと期待とがちょうど半分ずつ入り混じったその表情を見た時、「怪談は永久に不滅なのだろう」と、妙な安心感が湧いたのでした。

思い出の まいぞうひん My 蔵品

No.41

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



◀昭和44年ごろに開店した「科学模型つばさや」の新店舗

(左)正勝さんの父・正太郎さんが作った木製の模型飛行機
(右)鉄道模型の走る姿を子どもたちに見せるために、正太郎さんは自宅の庭に線路を再現しました



私の父・正太郎と母・チヨコは、戦前、東京都新宿区内に住んでいました。父は自動車塗装工場で塗装工をしており、自宅は駄菓子屋。物を作るのが好きな父は、店で木と竹ひごの模型飛行機も売っていました。

昭和20年、東京大空襲を受け、着の身着のままの状態で大江町（旧七軒村）田ノ沢に疎開し、その後左沢町に転居しました。

子どもたちのために、実在の物を再現する面白さが分かる模型のお店を開きたいと長年考えていた父は、昭和35年ごろ、母を店主にして自宅店舗で開店しました。その名も、「科学模型つばさや」だったので（『つばさ』は飛行機の翼）。

当時、日本は高度成長期に入っていました。子どもたちも、竹馬・メンコ・雪そりなど、遊ぶものの少ない時代から、戦艦・飛行機・レーシングカーなど、実物と同じ形を作るプラモデルの時代になってきました。「つばさや」は、その子どもたちの大きな夢を育んだ一つだったかもしれません。父たちも、町の子もたちと一緒に楽しい時を過ごすことができたと言っていました。町内の皆さんに見守られながら、昭和61年ごろ店を閉じました。
(12区 箱崎正勝)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

1月21日～2月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
小漆川	庄司 弦太	男	光幸・裕美
13区 砂川	歩夢	男	亮介・仁美

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
5区	清野 里子	(100)
9区	公平 はな	(94)
9区	毛利 キクヨ	(91)
9区	林 チヤ	(89)
藤田	渡邊 勇	(71)
藤田	寺崎 春代	(81)
小清	佐竹 一郎	(87)
8区	井上阿紀子	(76)
梨木原	後藤サダ子	(91)
市の沢	鈴木勝太郎	(80)



人口と世帯(前月比)

町の人口	8,217人(+1)
男	4,111人(+10)
女	4,106人(-9)
世帯数	2,924戸(+7)

平成31年3月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。